

## 渋沢栄一が生きた時代 一田無・保谷の歴史のあゆみ

～展示概要編～

### ■神奈川県/埼玉県から東京府へ

〔田無“神奈川県から”東京府へ/保谷“埼玉県から”東京府へ〕

～江戸時代の“むら”の繋がりから、明治時代の新しい“まち”の繋がりへ～

#### 神奈川県/埼玉県から東京府へ

とうきょうふ ぐんくぜんず  
**東京府 郡区全図**←

製作：明治 29（1896）年 7 月←

出版社：東京府 清華堂←

#### 三多摩を東京府へ移管←

明治 26（1893）年 4 月 1 日←

明治 11（1878）年の郡区町村編制法により、多摩郡は 4 分割され、東多摩郡は東京府へ、北・西・南多摩郡（三多摩）は神奈川県に属することとなりました。←

三多摩は、江戸時代以来、江戸・東京の水がめでした。明治 10 年代に東京府は、府民の水道・水源を確保・管理するために三多摩を東京に編入しようとしたが、神奈川県に反対され、実現しませんでした。←

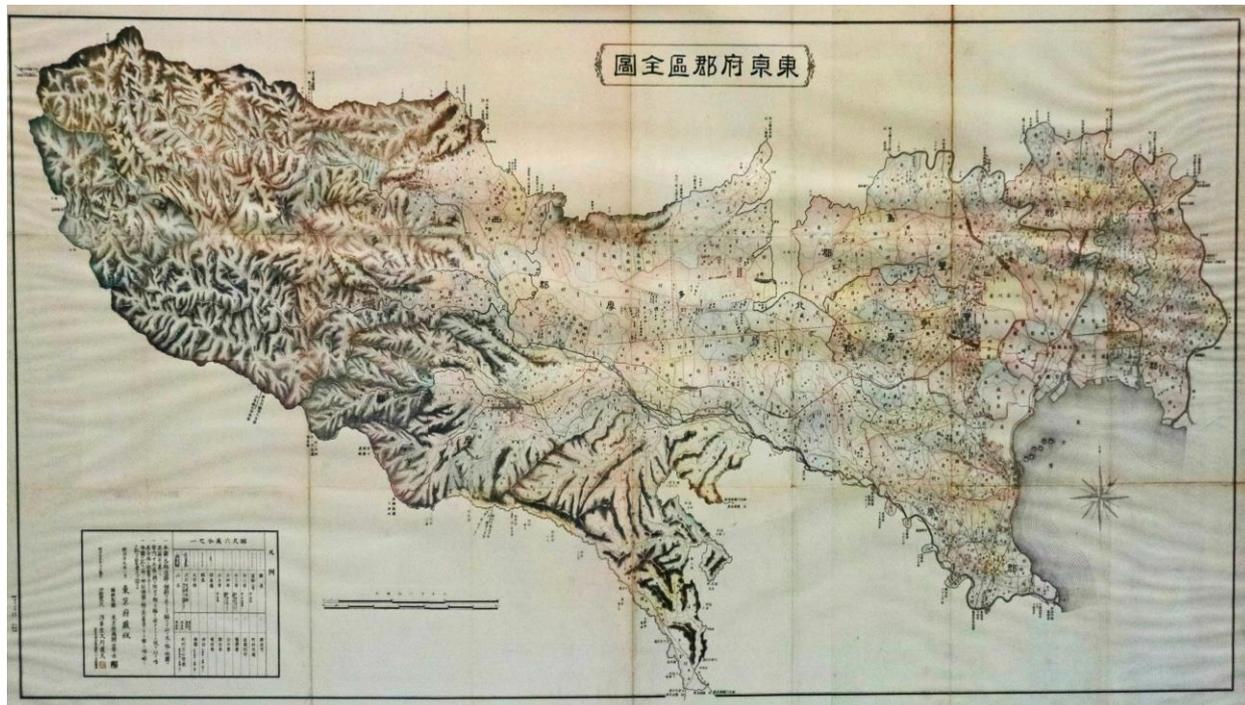
明治 22（1889）年に甲武鉄道（現在の JR 中央線）が新宿から八王子まで開通すると、三多摩と東京との結びつきが急速に強まりました。←

そこで、明治 26（1893）年、三多摩を東京府に編入する境域変更に関する法律案が帝国議会に提出され、可決成立しました。←

明治 26（1893）年 4 月 1 日、北多摩・西多摩・南多摩郡の東京府編入が実現しました。←

これにより、田無町も神奈川県から東京府へ移管されました。←

一方、保谷村は埼玉県北足立郡から東京府へ編入が実現したのは、明治 40（1907）年 4 月 1 日でした。←



## ～東京府郡区全圖～

### ■ 展示資料紹介

- ・ 西東京市中央図書館所蔵：写真資料

青梅街道：（撮影時期）昭和時代初期

- ・ 西東京市中央図書館：編集資料図

「明治末期から大正初期にかけての町並み」

- ・ 西東京市郷土資料室：所蔵資料

東京府郡区全圖

- ・ 西東京市郷土資料室：撮影写真資料

武蔵野邦新座郡「上保谷」村絵図（野口家所蔵）

- ・ 西東京市郷土資料室：作成資料

田無・保谷「郡域町村変遷」一覧表

神奈川県「第11大区所属/小区村名」一覧表、大区小区制

田無町“神奈川県”から東京府へ

保谷村“埼玉県北足立郡”から東京府へ